取扱説明書（別冊）

PJ Network Manager

この説明書は PJ Network Manager ソフトウエアの取扱説明書です。
本ソフトウェアは、Windows 専用ソフトです。Macintosh には対応しておりません。
PJ Network Manager の操作はこの取扱説明書に従い行ってください。
はじめに、プロジェクター本体の取扱説明書をご覧頂き、プロジェクターの基本的な取り扱い、注意事項をよくお読みください。
説明書に記載されている注意事項は必ずお守りください。

WXL200 用

SNMP マネージャーソフトウエア

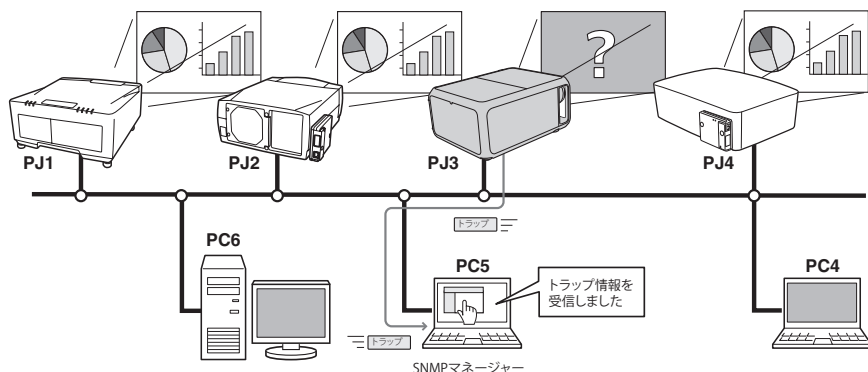
もくじ

第 1 章 はじめに

はじめに

PJ Network Manager は、プライベート MIB(Management Information Base) をサポートしたネットワーク対応機器用の SNMP マネージャーソフトウエアです。PJ Network Manager をコンピュータにインストールすることで、ネットワークに接続されたプロジェクターの動作状態の監視を簡単に行うことができます。
＊監視対象の機器は SNMP エージェント機能を実装した当社製品に限ります。

SNMP について

SNMP(Simple Network Management Protocol) の略です。TCP/IP ネットワークにおいて、ネットワークに接続された機器をネットワーク経由で監視・制御するためのプロトコルです。
SNMP は、TCP/IP ネットワークで接続された管理装置 (マネージャー) と管理対象内のエージェントが、MIB と呼ばれる管理情報を SNMP プロトコルにより読み出し、変更を行うことにより管理機能を実現します。

商標について

Microsoft、Windows、Windows 2000、Windows XP、Windows Vista および Windows 7 は、米国 Microsoft Corporation 社の米国及び、その他の国における登録商標または、商標、商品名です。
説明書に記載の会社名、及び製品名は各国の登録商標または商標です。

動作環境

項目	必要条件	推奨条件
CPU	Pentium III 400MHz 以上	Pentium 4 2.0GHz 以上：Windows XP 使用時 Pentium 4 3.0GHz 以上：Windows Vista および Windows 7 使用時
メモリ	128MB 以上	256MB 以上：Windows XP 使用時 1GB 以上：Windows Vista および Windows 7 使用時
ハードディスクの空き容量	インストール時：20MB 以上 運用時：20MB 以上	
画面解像度	SVGA (16 色カラー以上)	XGA True カラー以上
LAN 接続	10Mbps 以上のネットワーク	100Mbps 以上のネットワーク
OS	Windows 2000 Windows XP (32 bit version) Windows Vista (32 bit version) Windows 7 (32 bit version)	Windows XP Professional (32 bit version) Windows Vista (32 bit version) Windows 7 (32 bit version)

制限事項

監視可能なエージェント数は 200 台まで。

表記について

本書で説明に利用したコンピュータの OS は Windows XP Professional 、Web ブラウザは Internet Explorer 6.0 です。これ以外の環境では、説明の手順が異なる場合があります。
また、説明書中のイラスト図や機能名の説明で、ご使用のプロジェクターが対応していない項目があります。

本書の対象について

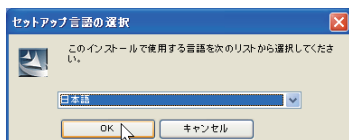
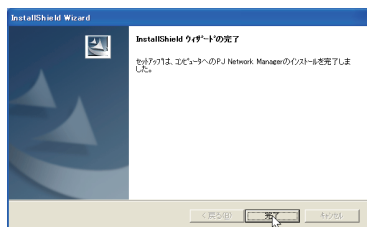
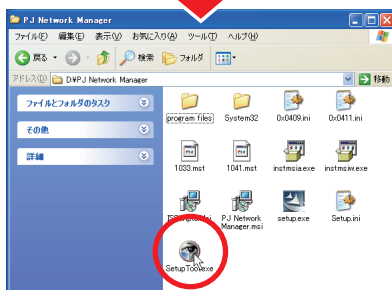
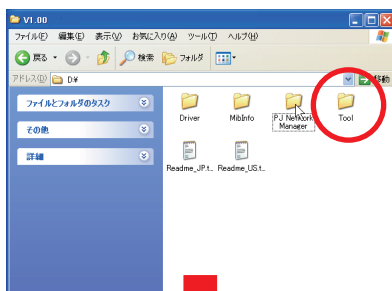
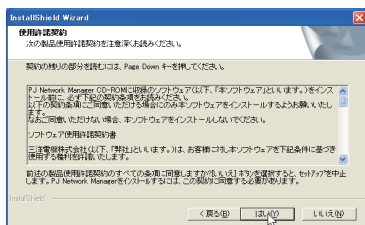
本書はコンピュータの操作、Web ブラウザの操作、プロジェクターの操作、およびネットワークに関する基本的な操作方法は記載していません。個々の機器、あるいはアプリケーションの操作方法については当該製品の使用説明書をご覧ください。

2

第2章
セットアップ

PJ Network Manager のインストール

1. 付属の CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブにセットします。CD-ROM 内「PJ Network Manager」フォルダの「SetupTool.exe」をダブルクリックしてインストールを開始します。

2. 表示される「セットアップ言語の選択」ダイアログで「日本語」を選択し、「OK」をクリックします。インストールウイザードに従ってインストールを開始してください。

インストールの途中で、ソフトウエア使用許諾契約画面が表示されますので、内容をよくお読みの上、使用許諾内容に同意いただける場合には［はい］ボタンをクリックしてインストールを進めてください。

3. インストール完了のメッセージが表示されたら、［完了］ボタンをクリックします。

注意：
ソフトウエアのインストールを行う際には、管理者権限でコンピュータにログインする必要があります。また、インストールの前に他のアプリケーションを必ず終了しておいてください。他のアプリケーションが起動していると、ソフトウエアが正しくインストールされない場合があります。
ご使用の OS により表示される内容が異なります。上記の画面は Windows XP のものです。

PJ Network Manager のアンインストール

本ソフトウエアの削除は、コントロールパネルの「プログラムの追加と削除」で行います。
（Windows Vista および Windows 7 では、「プログラムと機能」で行います）

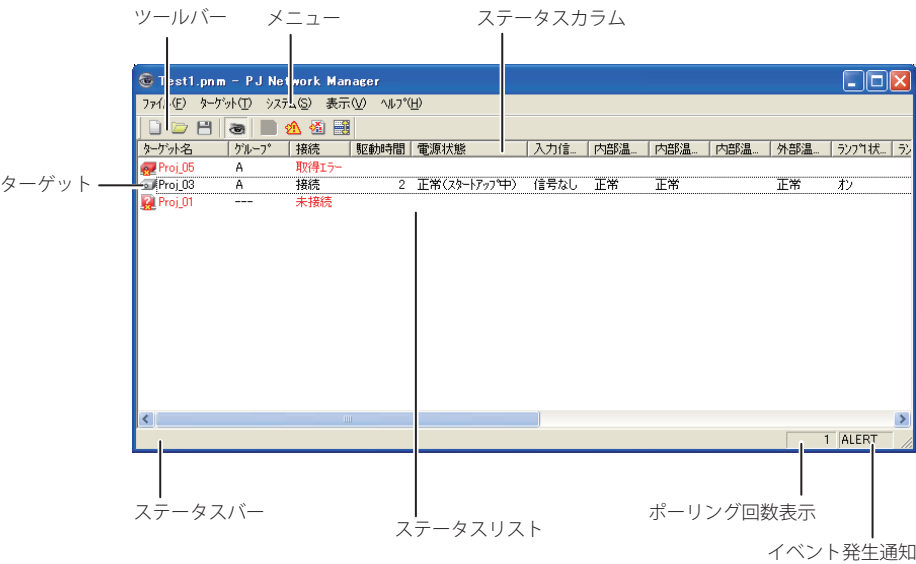
3

第３章
基本操作

PJ Network Manager の起動と終了

PJ Network Manager は次のいずれかを実行することで起動します。

- **「スタート」メニューから「すべてのプログラム」-「PJ Network Manager」を選択する。**
- **管理ファイル＊をダブルクリックする。**

ステータスウインドウの各部名称

※ターゲット行をダブルクリックするとWebブラウザが起動し、ターゲットの
　ログインウインドウが表示されます。(☞p.31)

項目名	説明
メニュー	メニューコマンドを選択してコマンドを実行します。
ツールバー	ボタンに割り当てられたコマンドを実行します。
ターゲット	監視対象のネットワーク機器。
ステータスバー	PJ Network Manager の状態やカーソルで選択しているコマンドの説明を表示します。
ステータスリスト	監視するターゲットの状態をリスト表示します。 異常発生時にターゲット名、アイコン、および、異常発生項目を赤で表示します。
ステータスカラム	ステータスリストのカラム
ポーリング回数表示	ターゲット監視中のポーリング回数を表示します。
イベント発生通知	イベントが発生した場合、イベント名 (ALERT,TRAP,SYSERR）を表示します。

＊ 監視ターゲット情報やイベントログ情報が保存されたファイルです。詳細は「管理ファイルを保存する」
　(☞p.28) を参照してください。

[ご注意]

＊ PJ Network Manager は複数のステータスウインドウを表示することはできません。

PJ Network Manager の終了

PJ Network Manager の終了は、ステータスウインドウ右上の [X] をクリックします。または、メニューより「ファイル」-「アプリケーションの終了」を選択します。

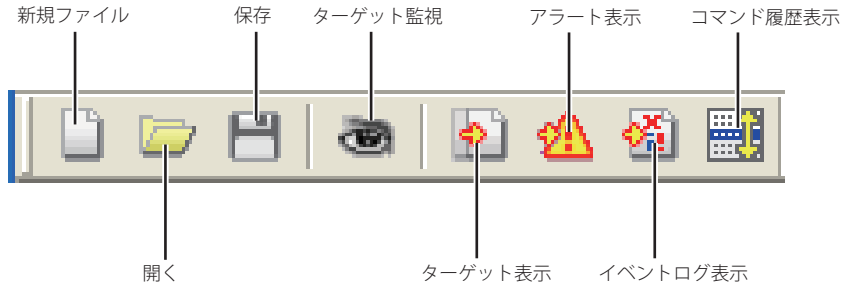
メニューツリー

メニュー	サブメニュー	動作
ファイル	新規作成	管理ファイルを新規作成します
	開く	既存の管理ファイルを開きます
	上書き保存	管理ファイルを上書き保存します
	名前を付けて保存	管理ファイルを別名で保存します
	アプリケーションの終了	PJ Network Manager を終了します
ターゲット	ターゲット監視	ターゲット監視を開始／停止します
	ターゲット追加	ターゲット機器をリストに追加します
	ターゲット編集	登録しているターゲット情報を編集します
	ターゲット削除	ターゲットをリストから削除します
	グループ設定	ターゲットのグループを設定します
	警告値設定	ターゲットの警告値を設定します
	Telnet 設定	Telnet 通信するためのパスワードを設定します
	コマンド一括設定	複数のターゲットにコマンドを一括設定します
	タイマー設定	ターゲットにタイマー情報を設定します
システム	ターゲット一括登録	外部ファイルで作成したターゲット情報を取り込みます
	システム初期設定	システムの初期設定を設定します
	カラム選択	ステータスリストの表示項目を選択します
	フォント設定	ステータスリストの表示フォント、サイズを設定します
表示	最新の情報に更新	ステータスリストの表示を最新情報に更新します
	ターゲット表示	ターゲットの情報を個別表示します
	アラート表示	アラート情報をリスト表示します
	イベントログ表示	イベントのログを表示します
	コマンド履歴表示	コマンドの履歴を表示します
	ツールバー	ツールバーの表示／非表示を切り替えます
ヘルプ	バージョン情報	ソフトウエアのバージョンを表示します

ターゲットとは

SNMP エージェント機能を実装したネットワーク機器のことをターゲットと呼びます。

ツールバーの名称

ツールバーボタンには以下のコマンドが割り当てられています。

ボタン名	動作
新規ファイル	管理ファイルを新規作成します。
開く	既存の管理ファイルを選択するダイアログウインドウを表示します。
保存	管理ファイルを上書き保存します。新規ファイルの場合は管理ファイル名、保存場所を指定します。
ﾀｰｹﾞｯﾄ監視	ターゲットの監視の開始、停止をトグル動作で制御します。
ﾀｰｹﾞｯﾄ表示	ターゲットの情報を個別表示します。
アラート表示	アラート情報をリスト表示します。
イベントログ表示	イベントのログを表示します。
コマンド履歴表示	コマンドの履歴を表示します。

✐ ツールバーの表示／非表示の切り替えは、メニューの「表示」-「ツールバー」で行います。

ターゲットのアイコン表示について

ターゲットの状態に応じたアイコンが表示されます。

アイコン表示		状態
フラットディスプレータイプ	プロジェクタータイプ	
Proj_05	Proj_05	通常状態
Proj_01	Proj_05	異常発生（アラート、トラップ、システムエラーのいずれかがターゲットに発生しています）
Proj_01	Proj_100	接続エラー（ターゲットがネットワークに接続されていません）
Proj_100		取得エラー（ターゲットがネットワークに接続されていません、または、SNMP 機能を備えていない機器へ接続しています）
Proj_100		不明（ターゲット監視が実行されていません）

ターゲットを追加する

1. メニューの「ターゲット」-「ターゲット追加」を選択します。ターゲット情報登録ダイアログが表示されます。

項目名	説明
名称	ターゲット機器の管理名称を入力します。
IP アドレス	ターゲット機器の IP アドレスを入力します。
コミュニティ	ネットワーク上のコミュニティ名を入力します。初期設定では "public" が設定されています。
システム情報	ネットワーク機器に設定されている情報を取得して表示します。

2. ターゲット設定情報を入力し、［更新］ボタンをクリックすると、ターゲット機器に設定された情報が「システム情報」項目に表示されます。

✐ ターゲット機器が起動していない場合、または監視対象ではない場合、「情報を取得できません」のエラーメッセージが表示されます。

3. ［OK］ボタンをクリックし、ダイアログを閉じます。上記ステップを繰り返し、管理対象にするターゲット機器を登録します。

ターゲットを編集する

1. 編集するターゲット名をステータスリスト上で右クリック選択します。
2. ポップアップメニューから「ターゲット編集」を選択します。ターゲット情報ウインドウが表示されますので、内容を編集し、［OK］ボタンをクリックします。

✐ システム情報の内容は編集できません。
✐ ターゲット編集はメニューの「ターゲット」-「ターゲット編集」からも行うことができます。

ターゲットを削除する

1. 削除するターゲット名をステータスリスト上で右クリックして選択します。
2. ポップアップメニューから「ターゲット削除」を選択します。
確認ダイアログが表示されますので、「OK」をクリックして削除を実行します。

✐ 上記手順はメニューの「ターゲット」-「ターゲット削除」からも行うことができます。

✐ ターゲット監視中はターゲットの追加、編集および削除はできません。
✐ ターゲットの最大登録数は 200 件です。
✐ ターゲットの名称、コミュニティ名は半角 255 文字までです。

警告値を設定する

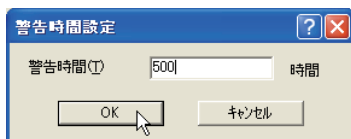
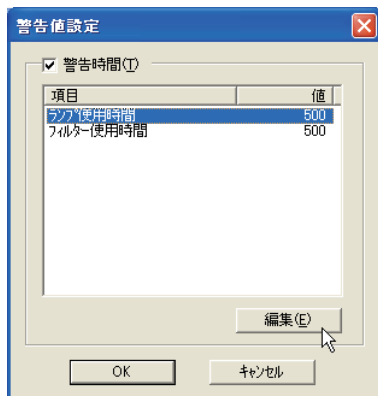
PJ Network Manager は、設定項目で規定した使用時間に達したときアラートを表示する機能を備えています。使用可能な設定項目（使用時間）はターゲット機器ごとにそれぞれ異なります。

1. 設定するターゲット名をステータスリスト上で選択し、右クリックします。
✐ 複数同時に設定する場合は、「Shift」キーまたは「Ctrl」キーを押しながら選択します。

2. ポップアップメニューから「警告値設定」を選択します。警告値設定ダイアログが表示されます。

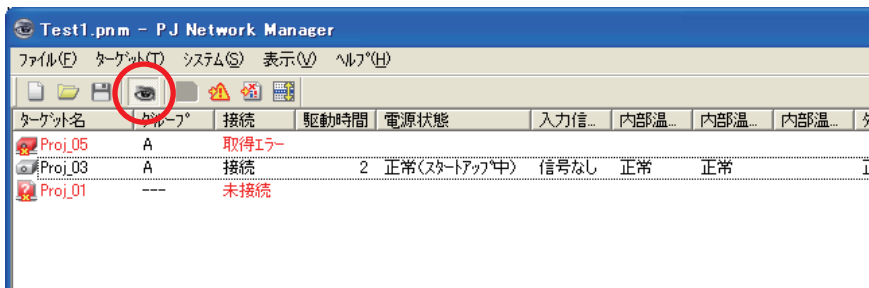
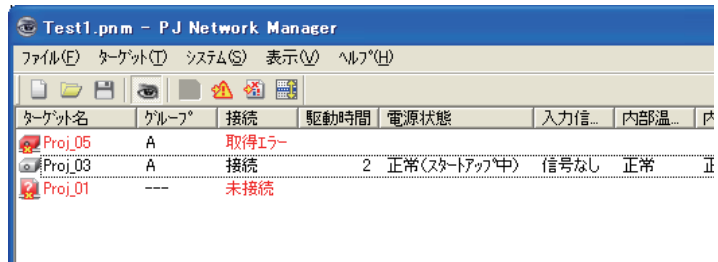
3. 警告時間のチェックボックスにチェックを入れると、設定項目が選択可能になります。設定する項目を選択し、［編集］ボタンをクリックします。警告時間設定ダイアログが表示されます。

4. 選択項目のしきい値を入力し、［OK］ボタンをクリックします。

5. 他に項目がある場合には、残りの項目のしきい値を設定し、［OK］ボタンをクリックします。

✐ 設定した警告値を無効にするには、「警告時間」のチェックボックスのチェックを外します。
✐ 複数のターゲットを選択した場合、設定時間はステータスリストの一番下のターゲットの値を表示します。
入力可能な時間は 0 ～ 99999 時間までです。設定した警告値は管理ファイルに保存されます。
✐ 製品によっては対応していない設定項目があります。

ターゲット監視を開始する

1. ターゲット監視の開始は、ツールバー上の［ターゲット監視：　］ボタンをクリックします。

2. PJ Network Manager は、登録されているターゲットの上から順番にポーリング（状態の調査）を行い、その結果をステータスリスト上に順次表示します。

✐ ターゲット監視の開始は、メニューの「ターゲット」-「ターゲット監視」からも行うことができます。

ターゲットにアラートが発生すると

ターゲット機器に異常が発生している場合や接続異常がある場合には、ターゲット名、アイコン、ステータスカラム項目を赤色で表示し、異常を知らせます。

✐ ターゲット機器の MIB 情報が取得できない場合は、接続エラーとして表示されます。
✐ ターゲットの監視間隔は「システム」-「システム初期設定」-「監視間隔」の設定に従います。
✐ アラートの通知方法は「システム」-「システム初期設定」-「イベント受信処理」で設定できます。

ターゲットにトラップイベントが発生すると

ターゲット監視中、ターゲット機器にあらかじめ設定された通知事象（トラップ）が発生すると、ターゲットから PJ Network Manager へトラップ情報が通知されます。このトラップ情報はステータスリスト上に表示されます。
通知されるトラップ項目は、ターゲット機器の SNMP 設定項目で設定します。プロジェクターではランプ不灯時、ランプ交換する時期が来たとき、電源異常で消灯したとき、などがあります。詳しくは別冊ネットワーク使用説明書の SNMP の設定を参照してください。

✐ トラップの通知方法は「システム」-「システム初期設定」-「イベント受信処理」で設定できます。

トラップとは

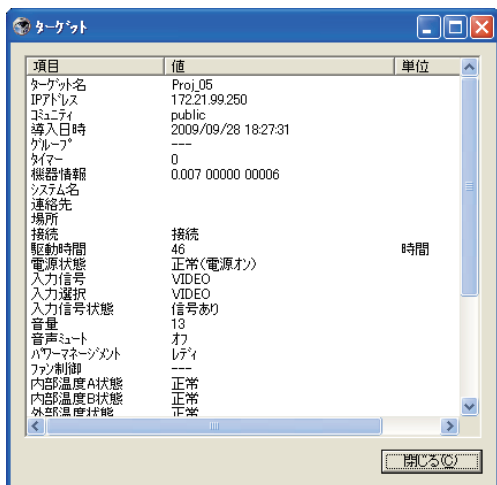
SNMP エージェントにあらかじめ設定された通知事象です。ある事象（ランプ不灯時、電源異常で消灯した時、など）が発生したときに、SNMP マネージャにトラップ情報として通知します。

ターゲット監視を停止する

ターゲット監視の停止は、ツールバーの［ターゲット監視： ］ボタンをクリックします。

✐ターゲット監視の停止は、メニュー「ターゲット」-「ターゲット監視」からも行うことができます。

ターゲットの全ステータス情報を表示する

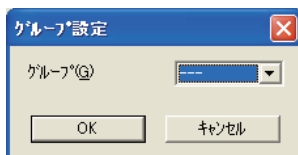
ターゲット名を選択し、ツールバーの［ターゲット表示： ］ボタンをクリックします。
以下のようにターゲットで利用可能なすべてのステータス情報を確認することができます。

✐アラート異常、または、接続異常が発生している項目およびターゲット名は赤色で表示されます。
✐カラム情報の値を取得できない場合は「---」が表示されます。
✐全ステータス情報の表示は、メニュー「表示」-「ターゲット表示」からも行うことができます。

✐上図は一例です。ステータス情報は機種ごとに異なります。

ターゲットにグループを設定する

ターゲットをグループ分けします。コマンドを同一グループに一括で設定する際に設定します。

1. ステータスリストからグループ化したいターゲットを選択し、「ターゲット」メニューの「グループ設定」を選択すると、「グループ設定」ダイアログが表示されます。

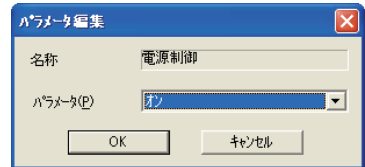
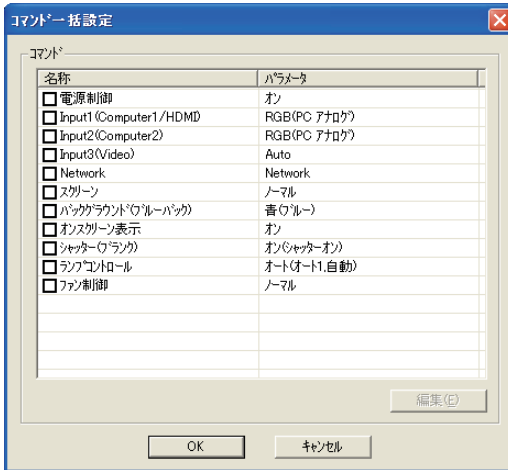
2. プルダウンメニューでグループを選択して［OK］ボタンをクリックします。A～Eの5グループを設定できます。「---」はグループ未設定になります。

✐異なるネットワーク暗証番号を設定しているプロジェクターは同じグループに設定できません。同一グループに設定するプロジェクターは、あらかじめ同じ暗証番号に設定しておく必要があります。

コマンドを複数のターゲットに一括設定する

複数のターゲットにコマンドを一括設定します。

1. 一括設定したいグループに属しているターゲットを選択して、「ターゲット」メニューまたはターゲットを選択して右ボタンをクリックすると表示されるメニューから、「コマンド一括設定」を選択します。「コマンド一括設定」ダイアログが表示されます。

2. 設定したいコマンドを選択して［編集］ボタンをクリックし、パラメータを選択して「パラメータ編集」の［OK］ボタンをクリックします。「コマンド一括設定」ダイアログの「名称」欄のチェックボックスにチェックが付きます。

3. 「コマンド一括設定」ダイアログの［OK］ボタンをクリックすると同一グループの全てのターゲットにコマンドが実行されます。

コマンド一括設定：設定可能コマンド

項目名	説明
電源制御	ターゲットの電源のオン / オフを行ないます。
Input1(Computer1/HDMI)	入力をインプット 1 に設定します。
Input2(Computer2)	入力をインプット 2 に設定します。
Input3(Video)	入力をインプット 3 に設定します。
Network	入力をネットワークに設定します。
ｽｸﾘｰﾝ	画面サイズを設定します。
ﾊﾞｯｸｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ(ﾌﾞﾙｰﾊﾞｯｸ)	無信号時の背景を設定します。
ｵﾝｽｸﾘｰﾝ表示	画面表示をする、しないを設定します。
ｼｬｯﾀｰ(ﾌﾞﾗﾝｸ)	シャッター（またはブランク）を設定します。
ﾗﾝﾌﾟｺﾝﾄﾛｰﾙ	ランプの明るさ（ランプコントロールモード）を設定します。
ﾌｧﾝ制御	ファンの回転数を設定します。

✐ グループ設定していないターゲットにコマンド一括設定を行うと、そのターゲット単独でコマンドが動作します。
✐ チェックが付いていないコマンドは実行されません。
✐ 製品によっては対応していないコマンドがあります。

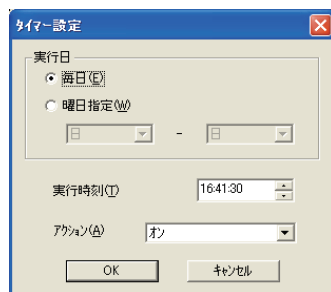
ターゲットにタイマー情報を設定する

ターゲットにタイマー情報を設定します。

1. タイマーを設定するターゲットを選択します。ターゲットは複数選択できます。

2.「ターゲット」メニュー、またはターゲットを選択して右ボタンをクリックすると表示されるメニューから「タイマー設定」を選択すると、「タイマー選択」ダイアログが表示されます。実行するタイマーのチェックボックスにチェックを付けます。

3. タイマー情報を追加する場合は、［追加］ボタンをクリックして「タイマー設定」ダイアログを表示してタイマー情報を入力します。

4.「タイマー選択」ダイアログの［OK］ボタンをクリックすると、選択したターゲットにタイマーが設定されます。複数選択していた場合、選択したターゲット全てにタイマーが設定されます。

タイマー設定項目

項目名	説明
実行日	毎日もしくは希望の曜日を指定します。
実行時刻	タイマーを実行する時間を指定します。(hh:mm:ss)
アクション	イベントを指定します。

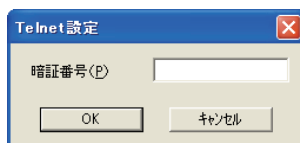
✐ チェックが付いていないタイマーは実行されません。

✐ タイマーの設定内容を変更する場合は、変更するタイマーを選択して［編集］ボタンを押します。「タイマー設定」ダイアログが表示されますので、設定を変更して［OK］ボタンを押します。

✐ タイマーを削除する場合は、削除するタイマーを選択して［削除］ボタンを押します。確認ダイアログが表示されますので、「はい」を押すと削除されます。

Telnet のパスワードを設定する

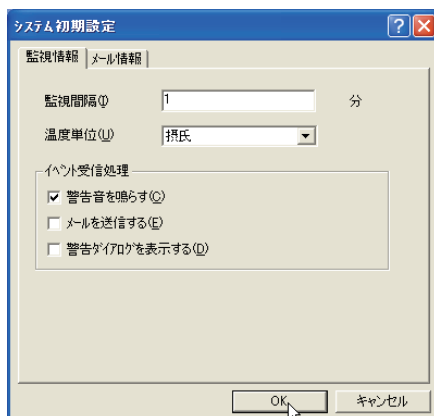
ターゲットと Telnet 通信するためのパスワードを設定します。このパスワードは、ターゲットに設定したネットワーク暗証番号と同じパスワードにする必要があります。

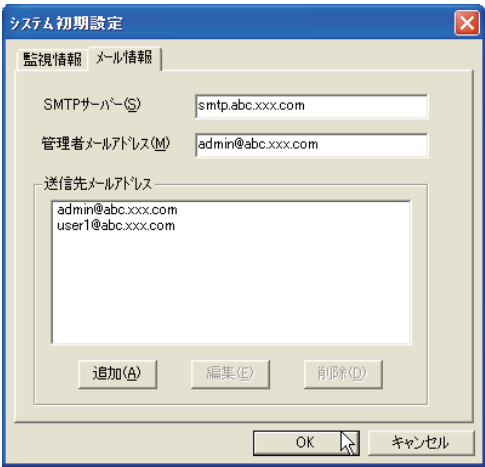
1. パスワードを設定するターゲットを選択します。ターゲットを複数選択することもできます。
2.「ターゲット」メニュー、またはターゲットを選択して右ボタンをクリックすると表示されるメニューから「Telnet 設定」を選択すると、「Telnet 設定」ダイアログが表示されます。
3. パスワードを設定して[OK]ボタンをクリックします。ターゲットを複数選択していた場合は、選択したターゲット全てが同じパスワードに設定されます。

✐ 初期設定は「0000」です。

初期設定をする

PJ Network Manager が監視する監視情報やメール情報を次の手順で設定します。

1. メニューの「システム」-「システム初期設定」を選択します。以下の設定ウインドウが表示されます。
2.「監視情報」タブと「メール情報」タブをクリックして切り替えます。

監視情報

項目名	説明
監視間隔	ターゲットを監視する間隔を分単位で設定します。（1 分から 99 分で設定）
温度単位	温度表示の単位を摂氏 (℃）または華氏 (°　F) を設定します。
イベント受信処理	ターゲットにイベント（ALERT、TRAP、SYSERR など）が発生した場合、チェックを付けた処理が実行されます。詳細は「イベント処理について」(☞p.26) を参照してください。 ☐ 警告音を鳴らす ☐ メールを送信する ☐ 警告ダイアログを表示する

メール情報

メール情報

項目名	説明
SMTP サーバー	SMTP メールサーバの IP アドレスまたはサーバー名を設定します。
管理者メールアドレス	管理者のメールドレスを設定します。
送信先メールアドレス	ターゲットにイベント（ALERT、TRAP、SYSERR など）が発生した場合のメール通知先アドレスを設定します。最大登録件数は 10 件です。 送信先メールアドレスの追加は、［追加］ボタンをクリックし、「送信先設定」ダイアログの「送信先メールアドレス」にメールアドレスを入力して［OK］ボタンを押します。

✐ メールアドレスを設定しても、「システム初期設定」ダイアログ「監視情報」タブの「イベント受信処理」の「メールを送信する」にチェックが入っていなければ、メールは送信されません。

✐ 送信先メールアドレスを修正する場合は、修正するアドレスを選択して［編集］ボタンを押します。「送信先設定」ダイアログが表示されますので、修正して［OK］ボタンを押します。

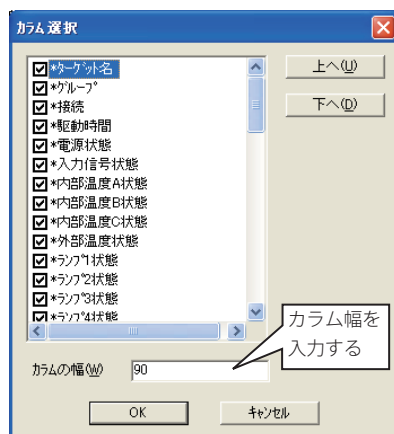
✐ 送信先メールアドレスを削除する場合は、削除するアドレスを選択して［削除］ボタンを押します。

✐ メールの送信内容については項目「イベント処理について」(☞p.26）を参照ください。

ステータスリストをカスタマイズする

監視する機器が対応するカラム項目に合わせ、ステータスリストをカスタマイズします。

表示ステータスカラムを変える

1. メニューの「システム」-「カラム選択」を選択します。
2. 「カラム選択」ダイアログで、ステータスリストに表示させるカラム名にチェックを付けます。
   ✐ カラム名横の「＊」はアラート項目を表します。
3. ステータスリストの表示カラム順の変更は、順番を変更したいカラムを選択し、「上へ」または「下へ」ボタンを押して変更します。
4. ［OK］ボタンをクリックして設定を終了します。

カラム名	説明（表示）
＊ターゲット名	ネットワーク機器の名称
＊グループ	所属しているグループ
＊接続	ネットワークへの接続状態（接続、未接続、取得エラー）
＊駆動時間	プロジェクターの積算使用時間
＊電源状態	プロジェクターの電源状態（正常（電源オン）、正常（スタンバイ）、パワーマネージメント、シャッターマネージメント、電源異常、ランプ不灯など）
＊入力信号状態	入力信号の状態（信号あり、信号なし、信号中断）
＊内部温度 A 状態	プロジェクターの内部温度 A の状態（正常、警告、異常）
＊内部温度 B 状態	プロジェクターの内部温度 B の状態（正常、警告、異常）
＊内部温度 C 状態	プロジェクターの内部温度 C の状態（正常、異常）
＊外部温度状態	プロジェクターの設置場所付近の温度状態（正常、警告、異常）
＊ﾗﾝﾌﾟ 1 状態	ランプ 1 の状態（オフ、オン、不灯、交換）
＊ﾗﾝﾌﾟ 2 状態	ランプ 2 の状態（オフ、オン、不灯、交換）
＊ﾗﾝﾌﾟ 3 状態	ランプ 3 の状態（オフ、オン、不灯、交換）
＊ﾗﾝﾌﾟ 4 状態	ランプ 4 の状態（オフ、オン、不灯、交換）
＊ﾗﾝﾌﾟ 1 使用時間	ランプ 1 の使用時間
＊ﾗﾝﾌﾟ 2 使用時間	ランプ 2 の使用時間
＊ﾗﾝﾌﾟ 3 使用時間	ランプ 3 の使用時間
＊ﾗﾝﾌﾟ 4 使用時間	ランプ 4 の使用時間
＊ﾌｨﾙﾀｰ状態	エアフィルターの状態（正常、警告、目詰り）
＊ｵﾌﾟｼｮﾝﾎﾞｯｸｽ ﾌｨﾙﾀｰ状態	オプションボックスのフィルターの状態（正常、エラー、目詰り）
＊ﾌｨﾙﾀｰ使用時間	エアフィルターの使用時間
＊ｵﾌﾟｼｮﾝﾎﾞｯｸｽ ﾌｨﾙﾀｰ使用時間	オプションボックスのフィルターの使用時間
＊エラー情報	エラー情報（プロジェクターでは対応していません）

✐ 括弧内の値は標準的な値であり、これらは接続している機器によって異なります。
✐ カラム名横の「＊」はアラート項目を表します

カラム名	説明（表示）
IP アドレス	ネットワーク機器に設定された IP アドレス
コミュニティ	ネットワーク機器に設定されたコミュニティ名（public）
導入日時 *1	ネットワーク機器の導入日時
タイマー	設定されているタイマーの数
機器情報	ネットワーク機器に設定された機器の名称情報
システム名	ネットワーク機器に設定されたシステムの名称情報（Proj_05）
連絡先	ネットワーク機器に設定された連絡先情報
場所	ネットワーク機器に設定された場所情報
入力信号	入力モードの情報（Input1、Input2、など）
入力選択	入力ソースの情報（RGB、VIDEO、S-VIDEO、NETWORK など）
ネットワーク状態	ネットワークの状態表示（オフライン、ﾈｯﾄﾜｰｸﾋﾞｭｰﾜｰ、ﾈｯﾄﾜｰｸｷｬﾌﾟﾁｬｰ、など）
音声モード	音声のモードを表示（NORMAL、PERSONAL、TALK、MUSIC、など）
音量	音量の設定値を表示
高音	高音の設定値を表示
低音	低音の設定値を表示
バランス	バランスの設定値を表示
音声ミュート	音声ミュートの状態（オン、オフ）
ﾊﾟﾜｰﾏﾈｰｼﾞﾒﾝﾄ	パワーマネージメントの設定（オフ、レディ、シャットダウン）
モニターアウト	モニターアウトの設定（オン、オフ）
シャッター *2	シャッターの状態（オン、オフ）
ｼｬｯﾀｰﾏﾈｰｼﾞﾒﾝﾄ *2	シャッターマネージメントの設定（シャットダウン）
ﾌｧﾝ制御	ファンコントロールの状態（ノーマル、マックス、オフ、オン 1、など）
内部温度 A	ネットワーク機器の内部温度 A の表示（摂氏、または、華氏）
内部温度 B	ネットワーク機器の内部温度 B の表示（摂氏、または、華氏）
内部温度 C	ネットワーク機器の内部温度 C の表示（摂氏、または、華氏）
外部温度	ネットワーク機器の設置場所付近の温度表示（摂氏、または、華氏）
ﾗﾝﾌﾟﾓｰﾄﾞ *3	ランプのモードの表示（1：1 灯、2：2 灯、４：４灯）
ﾗﾝﾌﾟｺﾝﾄﾛｰﾙ	ランプのコントロールモードの表示（オート (自動)、ノーマル、エコ、など）
モデル名	ネットワーク機器のモデル名を表示

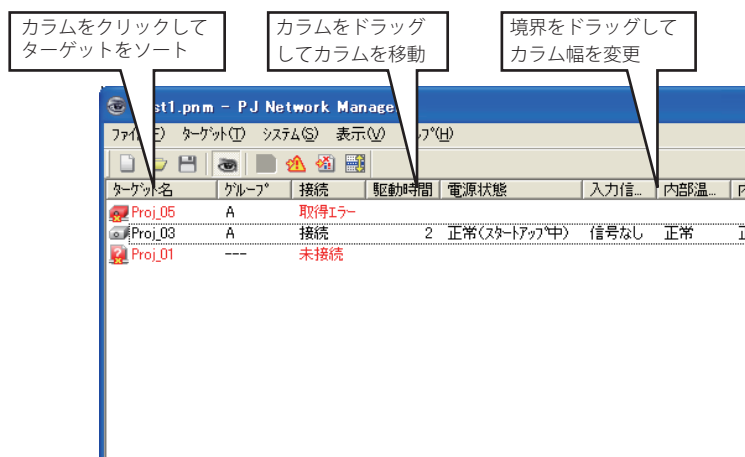
＊１　新規に PJ Network Manager を導入した場合、PJ Network Manager の導入日時が設定されます。
＊２　シャッターをアイリスとして動作させるモデルのみ表示されます。
＊３　ツインランプシステム搭載モデルでは表示されません。

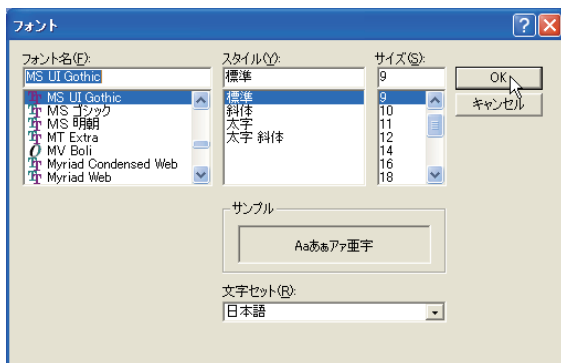
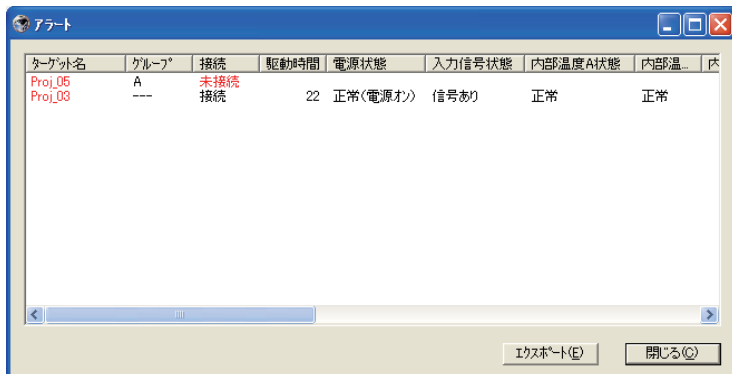
✐ 製品によっては対応していないカラム項目があります。対応していないカラム項目の値は空白で表されます。

ステータスカラムの順序や幅は以下の手順でも変更できます

順序を変更したいステータスカラム名をドラッグして、変更したい場所にドロップするとステータスカラムが移動します。また、カラム幅を変更したいカラムの右の境界へカーソルを合わせて境界上でマウスをドラッグすると、任意の幅に調節できます。

ステータスリストのリスト順をソートする

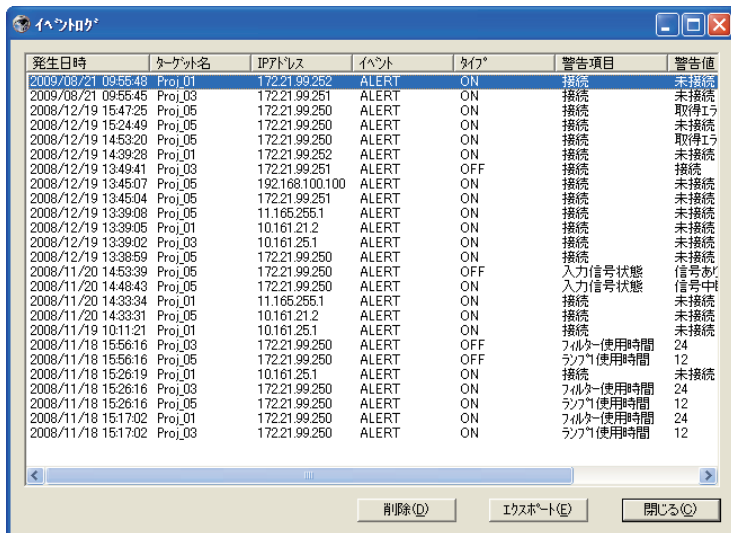
ステータスリストに表示されるターゲットの順番は、カラム名をクリックすることで並び替えできます。カラム名をクリックするたびに降順／昇順で並び替えられます。

ステータスリストのフォントを変更する

メニューから「システム」-「フォント設定」を選択すると、フォント設定ウインドウが表示されます。希望するフォント、スタイル、サイズを選択します。

✐ カスタマイズしたステータスリストの表示属性は、アプリケーション共通で適用されます。

アラート情報を表示する

1. ツールバー上の［アラート表示： ］ボタンをクリックします。

以下ように異常が検出されているすべてのターゲットのアラート情報をリスト表示します。

2. アラート情報をテキストファイル (CSV ファイル) として書き出す場合には、［ｴｸｽﾎﾟｰﾄ (E)］ボタンをクリックします。

✐ カラム幅はカラム右境界をマウスでドラッグすることで変更できます。カラムの順番はカラムをドラッグ＆ドロップして変更できます。カラムの削除はできません。
✐ アラート情報の表示はメニューの「表示」-「ｱﾗｰﾄ表示」からも行うことができます。

イベントログを表示する

1. ツールバー上の［イベントログ表示：　］ボタンをクリックします。
以下のようにこれまでに発生したイベントログをリスト表示します。

2. イベントをテキストファイル (CSV ファイル) として書き出す場合には、［ｴｸｽﾎﾟｰﾄ (E)］ボタンをクリックします。

3. 記録されているイベントログを削除する場合は、削除するイベントログの行を選択し、［削除］ボタンをクリックします。確認ダイアログで［はい］ボタンをクリックし、削除を実行します。

発生日時	ﾀｰｹﾞｯﾄ名	IPｱﾄﾞﾚｽ	ｲﾍﾞﾝﾄ	ﾀｲﾌﾟ	警告項目	警告値
2009/08/21 09:55:48	Proj_01	172.21.99.252	ALERT	ON	接続	未接続
2009/08/21 09:55:45	Proj_03	172.21.99.251	ALERT	ON	接続	未接続
2008/12/19 15:47:25	Proj_05	172.21.99.250	ALERT	ON	接続	取得エラ
2008/12/19 15:24:49	Proj_05	172.21.99.250	ALERT	ON	接続	未接続
2008/12/19 14:53:20	Proj_05	172.21.99.250	ALERT	ON	接続	取得エラ
2008/12/19 14:39:28	Proj_01	172.21.99.252	ALERT	ON	接続	未接続
2008/12/19 13:49:41	Proj_03	172.21.99.251	ALERT	OFF	接続	接続
2008/12/19 13:45:07	Proj_05	192.168.100.100	ALERT	ON	接続	未接続
2008/12/19 13:45:04	Proj_05	172.21.99.251	ALERT	ON	接続	未接続
2008/12/19 13:39:08	Proj_05	11.165.255.1	ALERT	ON	接続	未接続
2008/12/19 13:39:05	Proj_01	10.161.21.2	ALERT	ON	接続	未接続
2008/12/19 13:39:02	Proj_03	10.161.25.1	ALERT	ON	接続	未接続
2008/12/19 13:38:59	Proj_05	172.21.99.250	ALERT	ON	接続	未接続
2008/11/20 14:53:39	Proj_05	172.21.99.250	ALERT	OFF	入力信号状態	信号あ
2008/11/20 14:48:43	Proj_05	172.21.99.250	ALERT	ON	入力信号状態	信号中
2008/11/20 14:33:34	Proj_01	11.165.255.1	ALERT	ON	接続	未接続
2008/11/20 14:33:31	Proj_05	10.161.21.2	ALERT	ON	接続	未接続
2008/11/19 10:11:21	Proj_01	10.161.25.1	ALERT	ON	接続	未接続
2008/11/18 15:56:16	Proj_03	172.21.99.250	ALERT	OFF	ﾌｨﾙﾀｰ使用時間	24
2008/11/18 15:56:16	Proj_05	172.21.99.250	ALERT	OFF	ﾗﾝﾌﾟ1使用時間	12
2008/11/18 15:26:19	Proj_01	10.161.25.1	ALERT	ON	接続	未接続
2008/11/18 15:26:16	Proj_03	172.21.99.250	ALERT	ON	ﾌｨﾙﾀｰ使用時間	24
2008/11/18 15:26:16	Proj_05	172.21.99.250	ALERT	ON	ﾗﾝﾌﾟ1使用時間	12
2008/11/18 15:17:02	Proj_01	172.21.99.250	ALERT	ON	ﾌｨﾙﾀｰ使用時間	24
2008/11/18 15:17:02	Proj_03	172.21.99.250	ALERT	ON	ﾗﾝﾌﾟ1使用時間	12

イベントログ情報項目

項目名	説明
発生日時	イベントの発生日時
ﾀｰｹﾞｯﾄ名	イベント発生機器のターゲット名
IP ｱﾄﾞﾚｽ	イベント発生機器の IP アドレス
イベント	イベントの種類（ALERT、TRAP、SYSERR）（次表参照）
タイプ	イベントのタイプ（次表参照）
警告項目	イベントの警告項目（次表参照）
警告値	イベントの警告値（次表参照）
単位	警告値が数値表示の場合、その単位を表す

✐ リストされる項目は固定項目です。
✐ イベントログのリスト順は、カラム名をクリックすることで一時的に並び替え可能です。カラム名をクリックするたびに降順／昇順で並び替えられます。
✐ カラム幅はカラム右境界をマウスでドラッグすることで変更できます。カラムの順番はカラムのドラッグ＆ドロップで変更できます。イベントログのカラム順序、幅はコンピュータのレジストリに保存されます。
✐ イベントログの表示はメニュー「表示」-「ｲﾍﾞﾝﾄﾛｸﾞ表示」からも行うことができます。

イベント、タイプ、警告項目、警告値の説明

イベントログに記載される「イベント」､「タイプ」､「警告項目」､「警告値」は以下の表の通りです。

<table>
<tr><th>イベント</th><th>タイプ</th><th>警告項目</th><th>警告値</th><th>説明</th></tr>
<tr><td rowspan="8">ALERT</td><td rowspan="8">ON：異常が発生した
OFF：異常が解除された</td><td>接続</td><td>未接続
接続
取得エラー</td><td rowspan="18">＊次ページ
参照</td></tr>
<tr><td>電源状態</td><td>電源異常
温度異常
温度異常後復帰
RS232C 異常
パワーマネージメント
シャッターマネージメント
ランプ不灯</td></tr>
<tr><td>入力信号状態</td><td>信号中断
信号あり</td></tr>
<tr><td>内部温度状態 (A ～ C)
外部温度状態</td><td>異常</td></tr>
<tr><td>ランプ状態 (1 ～ 4)</td><td>不灯
交換</td></tr>
<tr><td>ランプ使用時間 (1 ～ 4)</td><td>(使用時間)</td></tr>
<tr><td>フィルター状態</td><td>目詰まり
警告</td></tr>
<tr><td>フィルター使用時間</td><td>(使用時間)</td></tr>
<tr><td rowspan="9">TRAP</td><td>ランプ不灯</td><td rowspan="2">ランプ状態 (1 ～ 4)</td><td>不灯</td></tr>
<tr><td>ランプ交換</td><td>交換</td></tr>
<tr><td>電源オフ
電源異常
パワーマネージメント
シャッターマネージメント</td><td>電源状態</td><td>電源異常
パワーマネージメント
シャッターマネージメント</td></tr>
<tr><td>温度異常</td><td>内部温度状態 (A ～ C)
外部温度状態</td><td>異常</td></tr>
<tr><td>信号中断</td><td>入力信号状態</td><td>信号中断</td></tr>
<tr><td>ランプ交換時期</td><td>ランプ使用時間 (1 ～ 4)</td><td>(使用時間)</td></tr>
<tr><td>フィルター交換時期</td><td>フィルター使用時間</td><td>(使用時間)</td></tr>
<tr><td>フィルター目詰まり</td><td>フィルター状態</td><td>目詰まり
警告</td></tr>
<tr><td>オートプレイエラー</td><td>なし</td><td>エラー</td></tr>
<tr><td>SYSERR</td><td>メール送信
メモリーエラー</td><td>なし（注）</td><td>なし（注）</td></tr>
</table>

✐ メール送信に失敗､またはメモリ取得に失敗して､「メール送信」または「メモリーエラー」が発生した場合、「警告項目」「警告値」には何も表示されません。

警告値の説明

警告項目	警告値	説明
接続	未接続 接続 * 取得エラー	ネットワークから切断されたとき ネットワークに接続されたとき ターゲットの MIB 情報を取得できなかったとき
電源状態	電源異常	電源異常で消灯したとき
	温度異常	温度異常が発生し消灯したとき
	温度異常後復帰	温度異常で消灯後、正常に復帰したとき
	RS232C 異常	RS232C 通信時に異常が発生したとき
	パワーマネージメント	パワーマネージメントにて消灯したとき
	シャッターマネージメント	シャッターマネージメントにて消灯したとき
	ランプ不灯	ランプの点灯が失敗したとき
	正常 (ｽﾀﾝﾊﾞｲ)*	プロジェクターがスタンバイになったとき
	正常 (ｸｰﾘﾝｸﾞ 中)*	プロジェクター電源オフ後、クーリング中
入力信号状態	信号中断 信号あり *	信号が中断したとき 信号が復帰したとき
内部温度状態 (A 〜 C) 外部温度状態	異常	温度異常で消灯したとき
ランプ状態（1 〜 4）	不灯 交換	ランプ不灯のとき ランプの交換時期が来たとき
ランプ使用時間（1 〜 4）	(使用時間)	ランプのユーザー設定使用時間が来たとき
フィルター状態	目詰まり 警告	フィルターが目詰まりを起こしたとき フィルターが目詰まりの状態に近づいたとき
フィルター使用時間	(使用時間)	フィルターのユーザー設定使用時間が来たとき
(オートプレイエラー)	エラー	オートプレイ中にエラーが発生したとき

✐ 上記表中で " ＊ " で示された警告値はアラートが解除された（タイプが OFF になった）時のイベントを表しています。
その他はアラートが発生したときの警告値を表しています。

✐ イベントログのカラム順序、幅はコンピュータのレジストリに保存されます。
✐ イベントログは最大 1000 件までです。1000 件を超えた場合、一番古いイベントログが削除され、新規イベントが追加されます。イベントログは管理ファイルに保存されます。
✐ 製品によっては、対応していない警告項目があります。

イベント処理について

イベントが受信されると、システム初期設定で選択している以下のイベント処理が実行されます。

□ 警告音を鳴らす
□ メールを送信する
□ 警告ダイアログを表示する

警告音を鳴らす

イベントが受信されると、コンピュータのスピーカから警告音を鳴らします。警告音はあらかじめコンピュータに警告音として設定されているサウンドが再生されます。

✐ コンピュータにスピーカが付属していない場合や、音量を消音設定している場合には警告音は再生されません。

メールを送信する

以下の内容のメールが送信先メールアドレスへ送信されます。

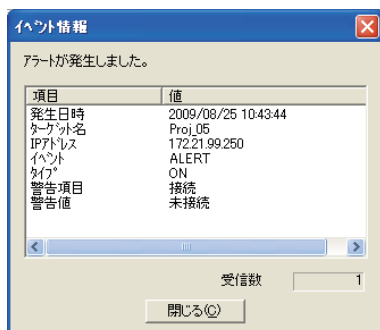
送信者：Test1<admin@abc.xxx.com>（ファイル名）
日時：2004 年 5 月 18 日 18:21
宛先：user@abc.xxx.com
件名：ALERT メッセージ

アラートが発生しました。
＊発生日付：2004/05/18 18:15:50
＊ターゲット名：Proj_10
＊ IP アドレス：192.168.1.101
＊イベント：ALERT
＊タイプ：ON
＊警告項目：電源状態
＊警告値：電源異常

✐ イベント、タイプ、警告項目、警告値の詳細情報は「イベントログを表示する」（☞p.23）をご覧ください。
✐ イベント処理の設定は「システム初期設定」（☞p.17）をご覧ください。

Windows XP サービスパック 2(SP2) / Windows Vista / Windows 7 使用上の注意
Windows XP SP2、Windows Vista および Windows 7 では初期設定で Windows ファイヤーウォール機能が有効に設定されています。この機能により、上記メール送信機能は利用できません。このメール送信機能を使用するには、PJ Network Manager アプリケーションのブロックを無効にする必要があります。Windows ファイヤーウォールの詳細はパソコンの Windows ヘルプを参照ください。

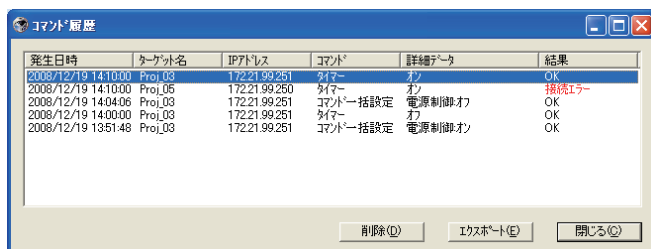
警告ダイアログを表示する

以下のダイアログが表示されます。

✐ イベント、タイプ、警告項目、警告値の詳細情報は「イベントログを表示する」（☞p.23）をご覧ください。

コマンド履歴を表示する

1. ツールバー上の［コマンド履歴表示：　］ボタンをクリックします。以下のようにターゲットに設定されたコマンド情報とその実行の履歴をリスト表示します。

2. イベントをテキストファイル (CSV ファイル) として書き出す場合には、［ｴｸｽﾎﾟｰﾄ (E)］ボタンをクリックします。

3. 記録されているコマンド履歴を削除する場合は、削除する発生日付項目を選択し、「削除」をクリックします。確認ダイアログで「はい」をクリックし、削除を実行します。

コマンド履歴項目

項目名	説明
発生日時	コマンドの実行日時
ﾀｰｹﾞｯﾄ名	コマンド実行機器のターゲット名
IP ｱﾄﾞﾚｽ	コマンド実行機器の IP アドレス
コマンド	コマンドの指定方法
詳細データ	コマンドの内容
結果	コマンドの実行結果

✐ リストされる項目は固定項目です。
✐ 履歴は最大 1000 件です。1000 件を越えた場合は、一番古い履歴から削除されます。
✐ コマンド履歴の表示はメニューの「表示」-「コマンド履歴表示」からも行うことができます。

管理ファイルを保存する

PJ Network Manager を使用してターゲット監視を行う場合、登録ターゲット情報やシステム設定、イベントログ情報を任意のファイル名称の管理ファイルに保存することが可能です。複数のネットワーク機器を管理区分ごとに分けた管理ファイルを作成して管理できます。

ツールバーの［保存：］ボタンをクリックします。任意の管理ファイル名を付けて保存します。拡張子は (.pnm）です。

管理ファイルは以下の情報を保存します。

項目	説明
ヘッダー	管理ファイル区分、ファイルバージョン
システム初期設定値	システムの初期設定値 ・監視間隔 ・イベント受信処理種 ・温度単位 ・メール情報
ターゲット登録情報	ターゲットの登録情報 ・ターゲット情報（ターゲット名、IP アドレス、コミュニティ名、導入年月日） ・ターゲットの MIB 情報 ・警告値
イベントログ情報	発生したイベントログ情報（ALERT、TRAP、SYSERR）

✐ 管理ファイルは最大約 1MB のファイル容量を必要とします。（ターゲット登録件数 200 件、イベントログ件数 1000 件の場合）

レジストリに保存される情報

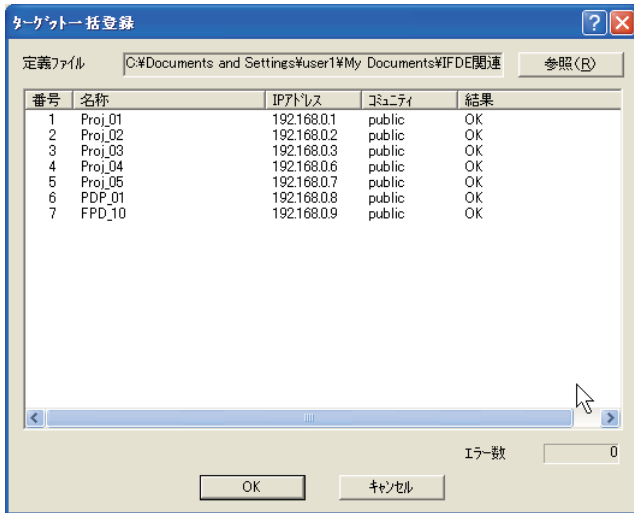
以下の PJ Network Manager のアプリケーション設定情報がコンピュータのレジストリに保存されます。したがって、アプリケーションを終了しても設定状態が保持されています。

項目	説明
ステータスウインドウ情報	ステータスウインドウのスクリーン上の表示位置とサイズ
ステータスリスト情報	ステータスリストの表示ステータス名、カラム幅、カラム表示順
イベントログリスト情報	イベントログリストのカラム幅とカラム表示順
フォント設定	フォント設定値

定義ファイルからターゲット情報を一括で登録する

PJ Network Manager は定義ファイルからターゲット情報を一括で取り込む機能を用意しています。以下で示すフォーマットに沿ってターゲット情報を書き込んだ定義ファイル（CSV データ形式）をあらかじめ用意しておきます。

1. メニューより、「ｼｽﾃﾑ」-「ﾀｰｹﾞｯﾄ一括登録」を選択します。 ﾀｰｹﾞｯﾄ一括登録ウインドウが表示されます。

2. ［参照］ボタンをクリックし、ターゲット情報を書き込んだ定義ファイルを選択して取り込みます。「ﾀｰｹﾞｯﾄ一括登録」ダイアログにターゲット情報がリストされます。

＊ 取り込んだ定義ファイル中にエラーがある場合には「結果」カラムにエラー情報が表示されます。定義ファイルを再編集して再度取り込みを行います。

3. ［OK］ボタンをクリックして一括登録を実行します。

✐ ターゲット監視中は「ﾀｰｹﾞｯﾄ一括登録」を操作できません。

定義ファイルのフォーマット

定義ファイルは表計算ソフトウエアなどで作成した CSV データのファイルで、以下のように定義されています。

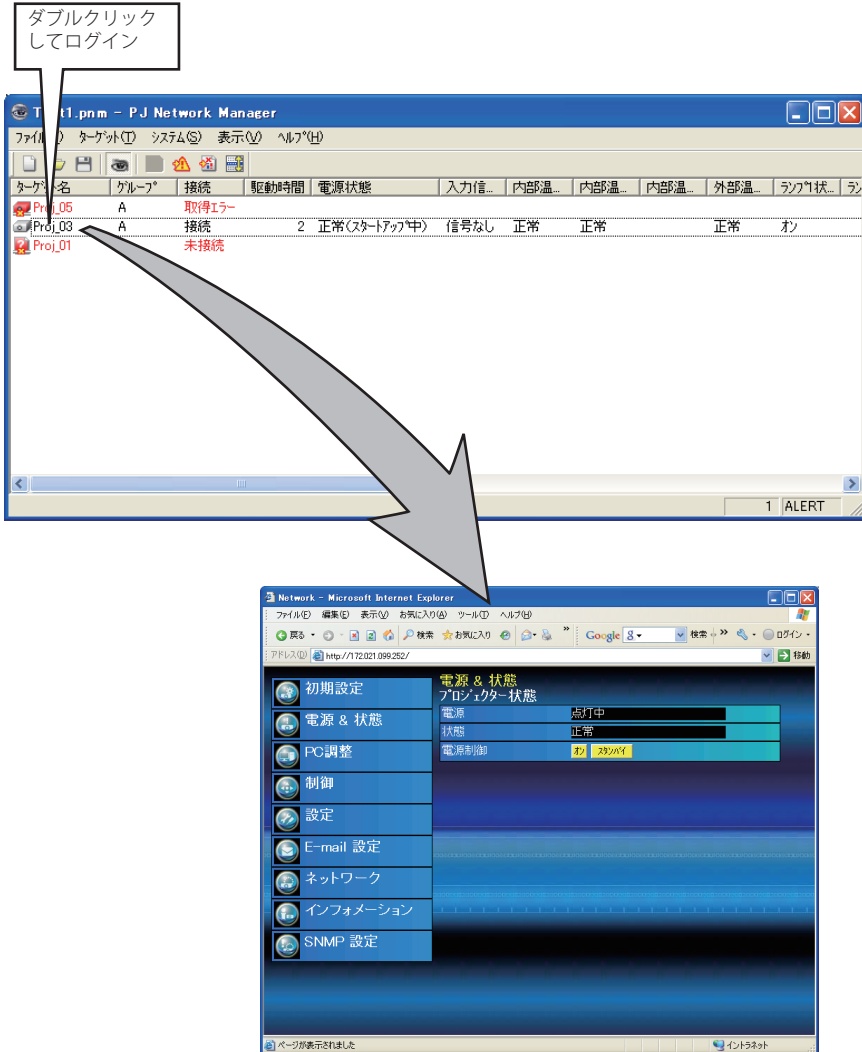
カラム	説明（例）
ﾀｰｹﾞｯﾄ名	ﾀｰｹﾞｯﾄ機器の名称（Proj_01, Proj_03, PDP_01 など）
IP ｱﾄﾞﾚｽ	IP アドレス (192.168.0.1 など)
ｺﾐｭﾆﾃｨ	SNMP のコミュニティ名称。当社ネットワーク機器の初期値は "public"

定義ファイルの実際例

以下にターゲット情報を書き込んだ定義ファイルの実際例を示します。このファイルを CSV ファイルとして保存します。

ﾀｰｹﾞｯﾄ名	IP ｱﾄﾞﾚｽ	ｺﾐｭﾆﾃｨ
Proj_01	192.168.0.1	public
Proj_02	192.168.0.2	public
Proj_03	192.168.0.3	public
Proj_04	192.168.0.6	public
Proj_05	192.168.0.7	public
PDP_01	192.168.0.8	public
FPD_10	192.168.0.9	public

ターゲット機器にログインする

ステータスリスト上のターゲット名をダブルクリックすると、コンピュータにインストールされた Web ブラウザが起動し、ログインウインドウが表示されます。
ユーザーは Web ブラウザを使用してプロジェクターの設定や操作を遠隔で行うことができます。
詳細な操作説明は、別冊のネットワーク使用説明書をご覧ください。

✐ ログインウインドウは Web ブラウザが新規に開いて表示されますので、開いたブラウザの「戻る」ボタンを押しても白画面が表示されてどこにも戻りません。